甲状腺の検査 01

検査値の見かた

> いちばん大事なのは TSH です。ただし数値の向きが直感と反対なので、そこだけ覚えてください。

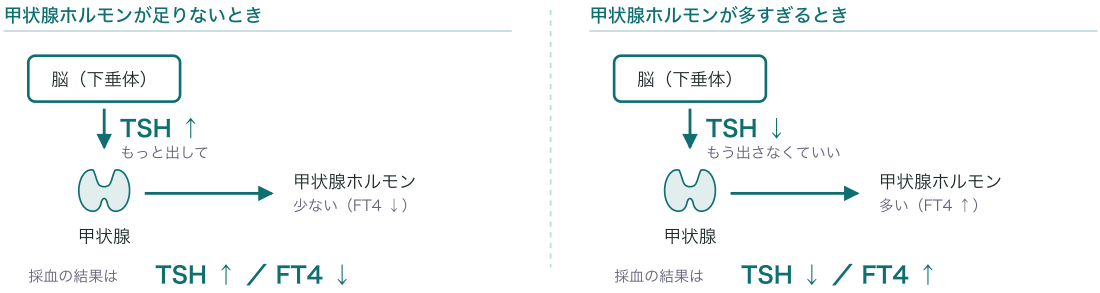
Q なぜ TSH をいちばん見るのですか

甲状腺ホルモン（FT4・FT3）の量は、脳の下垂体（かすいたい）が見張って調節しています。

足りなければ「もっと出して」と TSH を増やし、多すぎれば TSH を減らしてブレーキをかけます。

このため **TSH はわずかな変化にも先に反応します**。甲状腺の状態を映す鏡として、最も鋭い指標です。

Q 数値が反対に動くのはなぜですか



TSH は甲状腺へのアクセルです。働きが弱いほど強く踏み込むので、数値は上がります。

TSH が高い＝甲状腺の働きが弱い。 ここが直感と反対なので、よく混乱されるところです。

Q 組み合わせで何がわかりますか

TSH	FT4	考えられる状態
高い	低い	甲状腺の働きが弱い（機能低下症）
高い	正常	潜在性（せんざいせい）機能低下症
低い	高い	甲状腺の働きが強い（中毒症。バセドウ病など）
低い	正常	潜在性機能亢進症

「潜在性」は**症状が出る前の段階**です。すぐ治療とは限らず、経過をみることもあります。

Q 抗体の検査は何を見ていますか

ホルモンの量ではなく、**原因**を調べる検査です。一度調べれば毎回は測りません。

- **TRAb** — バセドウ病の原因になる抗体
- **TPOAb・TgAb** — 慢性甲状腺炎でよく陽性になる抗体

Q どのくらいの間隔で測りますか

薬を始めた直後や量を変えたときは **1〜2 か月ごと**。値が落ち着いてからも、**2 か月おきくらい**に測ることが多いです。長く安定している方では、もう少しあけることもあります。

TSH は変化が数値に表れるまで 1〜2 か月かかります。 薬を変えてすぐ測っても判断できないため、この間隔にしています。

出典：日本甲状腺学会 甲状腺疾患診断ガイドライン2024

診療目的での複製は自由に行えます。